

びわこ文化公園植物だより〔β 版〕

## カスミザクラ バラ科

学名: *Cerasus leveilleana*

・公園内の山林に自生



カスミザクラの花。2023年4月14日撮影。

ソメイヨシノがすっかり葉桜となった4月の中旬、新緑に向かう山林のところどころに、遅れてきたのを一向気にしていないかのように咲き誇っているサクラがあります。カスミザクラという野生のサクラです。

びわこ文化公園内の山林に生える野生のサクラとし

ではもう一種、ヤマザクラ *Cerasus jamasakura* があり、ソメイヨシノとほとんど同時、あるいは数日遅れ程度で開花します。ソメイヨシノは葉が出る前に花だけが咲きますが、ヤマザクラとカスミザクラの2種はどちらも葉が出るのと同時に花が咲きます。この共通点があるので、カスミザクラは時季はずれの間抜けなヤマザクラと誤解されているかもしれません。

ヤマザクラは赤茶色の新芽とともに咲き、がくも赤味を帯びるものが多いので、野生種ながらもあでやかな風情をもっています。それと比べるとカスミザクラは新芽もがくもさわやかな緑色のものが多く、いかにも野生種らしい清楚な雰囲気をもっています。



〈参考〉ヤマザクラの花。2020年3月27日撮影。

「山桜」として流通する苗木の中には、ヤマザクラとカスミザクラの雑種も含まれているようです。びわこ文化公園西エリアの風車の北の道路沿いにある「ヤマザクラ」のラベルには「白山桜」と注記がついていますが、これはヤマザクラとカスミザクラを合わせていう古い呼び名です<sup>注)</sup>。ここにある1本は、花期が遅く葉柄に毛があるなどカスミザクラの特徴をあわせ持っている、雑種の可能性が高い個体です。

注) 勝木ら (2018) [茨城県自然博物館研究報告](#).



ヤマザクラとカスミザクラの雑種？

2023年4月14日撮影。

(龍谷大学農学部 立川温大・三浦励一)